

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/07/22号

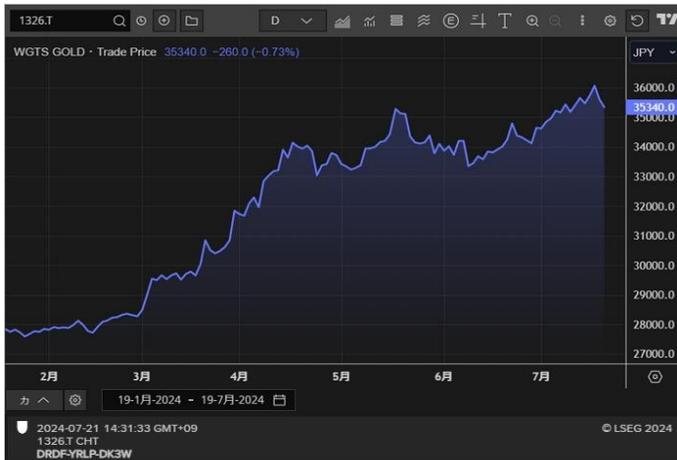
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

再び歴史的な高値更新のあと利食いで急落

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



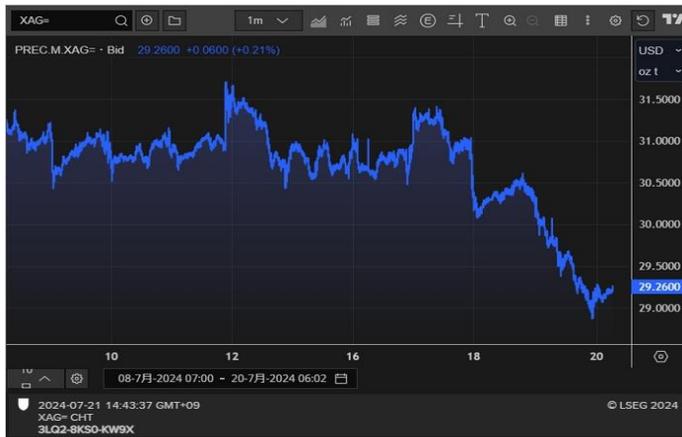
歴史的な高値の更新、そしてそこから急落と非常に大きな動きの一週間でした。まず水曜日に2488ドルという歴史的な高値を更新。2500ドルまであと12ドルに迫りました。その背景にはパウエル議長がその会見で、インフレ率は目標の2%に向けて下げており、引き締め政策が望み通りの効果を発揮しているとして、このところの経済指標がまさにそれを示し始めてきたとしました。これを受けてFedWatchによる9月の利下げ確率は90%を超えて、ゴールドははそれにより大きく買われました。しかしこの上げ方はあまりに速く、あまりに大きく、RSIは70を超えて明らかに買われすぎのレベルまで上昇。ほんの一週間で100ドル以上の上げになりました。この急激な上昇により、アジアの現物買いはストップ、SGE（上海黄金交易所）のゴールドのLoc London Goldに対するプレミアムは、今年前半の40ドルから直近では少しですがディルカウントまで下落。さすがにこの価格は維持するのが難しいということから金曜日には一斉に利食いの売りが入り、これが結果的にこの急激に上がり過ぎた部分をほぼ帳消しにする下げとなり、一週間の引けは2400ドルという非常に微妙な価格での終わりとなりました。円建てゴールドも歴史的な高値として水曜日に12644円をつけたあと、ドル建てゴールドの下落とドル円の158円半ばから一時155円台前半までの急落により、金曜日には12100円台と高値から500円の下げを記録しました。前々週の金曜日が、ゴールドもNYダウもともにほぼ歴史的な高値で引けるという非常にまれなマーケットとなりましたが、その反動か前週は株もゴールドも両方とも大きく下げて終わったマーケットとなりました。アジア勢が買い控えとなったことから、この調整はしばらく続くかもしれません。ただ個人的にはこれまでと同じように下がったら買いスタンスは変わりません。この調整は利下げとなり欧米投資家がこぞって買って来る前に買う千載一遇のチャンスを与えてくれていると思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

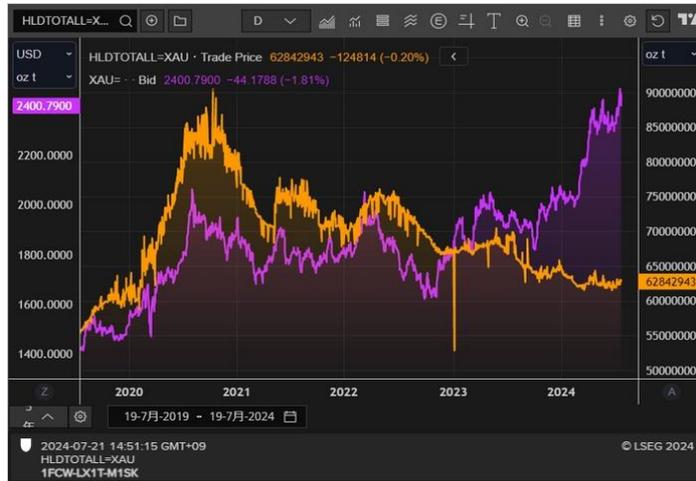
「シルバーの現状」

シルバーもゴールドが歴史的な高値をつけた際には31.4ドル台まで上昇しましたが、その後のゴールドの下げに対してより大きく反応し、30ドルを割り込み一時29ドルをも割り込みました。70台で動いていた金銀比価も80台に急落。30ドルがいかにかシルバーにとっては重たいものかを意識させる動きとなりました。長期的にはその供給不足によりレベルを上げていくと思いますが、期待よりも時間は長くなりそうです。

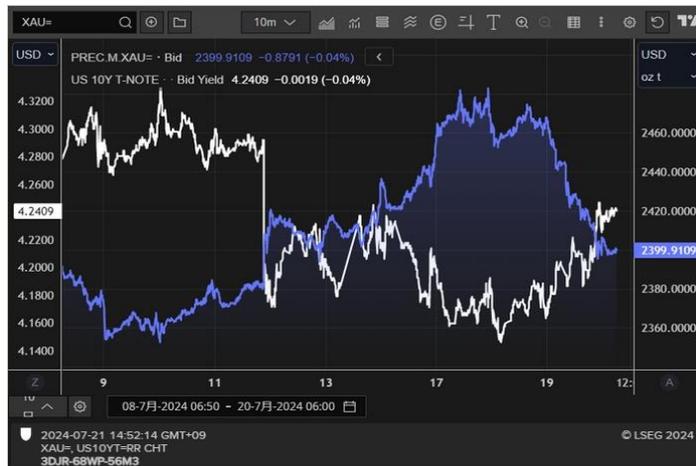


「プラチナの現状」

前週も1000ドルを維持することができずやはりまた900-1000ドルのレンジを意識させる動きとなっています。残念ながらプラチナが絶対的に上昇する材料がまだまだ乏しいということを再認識させる動きです。ゴールドに対する圧倒的な割安感が唯一の魅力でしょうか。しかしそれを材料としてプラチナを買う投資家はまだまだ少数派だということです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで